

令和5年1月16日

関係各機関の長 殿

徳島大学大学院医歯薬学研究部
研究部長 赤池 雅史〔公印省略〕

外科系（泌尿器科学分野）教授候補者の公募期間延長について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本研究部では、外科系（泌尿器科学分野）の金山博臣教授が令和5年3月末をもって退職することに伴い、後任の教授を公募しておりましたが、このたび公募期間を延長することとなりました。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮ですが、貴学（機関）または関係方面に適任者がおられましたら、下記によりご推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、候補者の方には、選考の過程において公開講演、面談、手術見学等を実施させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきます。

敬具

記

1. 応募資格
 - 1) 博士（医学）の学位を有する者
 - 2) 日本の医師免許を有する者
 - 3) 泌尿器科専門医の資格を有する者
 - 4) 泌尿器科学分野における豊富な実績を有し、教育、研究及び診療の積極的な指導実践ができる者
 - 5) 泌尿器科学分野において公正な管理運営を行い、大学院医歯薬学研究部及び医学部の発展に貢献できる者
 - 6) 徳島大学病院の管理運営に寄与できる者
2. 提出書類
 - 1) 履 歴 書 1 通
 - 2) 業 績 目 録 1 通
 - 3) 参 考 資 料 1 揃
 - 4) 論 文 別 刷 1 揃
 - 5) 推 薦 状 1 通※「応募書類作成要領」参照
3. 応募締切日 令和5年3月17日（金）17時必着
4. 書類送付先 〒770-8503
徳島市蔵本町2丁目50-1
徳島大学総務部人事課蔵本人事係
e-mail: jnjin2c@tokushima-u.ac.jp
Tel: 088-633-7018 Fax: 088-633-7474
※郵送の場合は簡易書留で送付し、応募書類を入れた封筒には「外科系（泌尿器科学分野）教授応募書類在中」と朱書すること。
5. そ の 他
 - 1) 本公募文書（応募書類作成要領を含む）については、下記のホームページでダウンロードしてください。
 - ・ 徳島大学ホームページ (<https://www.tokushima-u.ac.jp/>)
 - ・ 研究者人材データベース (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)
 - 2) 徳島大学大学院医歯薬研究部の教員選考においては、国籍、性別およびハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公平な選考を行います。
 - 3) 徳島大学は、様々な取組により男女共同参画を推進しており、教員公募においても女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
 - 4) 提供していただいた個人情報等は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続

を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

応募書類作成要領

1. 履歴書（※書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）
 - 1) 書式は、A4 判(縦)横書きで作成すること。（別紙「履歴書作成例」参照）
 - 2) メールアドレスは、選考の過程においての諸連絡に使用するので正しく記載すること。
 - 3) 連絡先は、電話、郵便等での連絡先とし、勤務先又は自宅のいずれかを記載すること。
 - 4) 学歴は、高等学校卒業以降、大学卒業又は大学院修了までの学歴を全て記入すること。
 - 5) 研究生などの履歴は、職歴欄に記入すること。
 - 6) 職歴は、大学卒業又は大学院修了以降の履歴を、空白期間のないよう簡潔に記入すること。
 - 7) 職名、所属講座などの記載方法は別紙「履歴書作成例」に従い、重複期間のあるものには説明を付すこと。
 - 8) 所属学会は、全国規模の学会のみを記載すること。
 - 9) 学術賞等は全国規模の学会賞等を対象とし、大学内での受賞等は対象外とする。
 - 10) 外国出張等は、その期間が2ヶ月以上の外国出張、留学等について記載すること。また、出張等先、当時の身分は英語等による原文で記載すること。
 - 11) 業績内訳は、「2. 業績目録 2)の①～⑪」に記載した事項について集計し記載すること。
 - 12) 業績内訳の（論文数）欄については総数を記載し、併せて筆頭、セカンドオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー、単著をそれぞれ内数で記載すること。その場合、単著は筆頭に含めないものとする。
 - 13) 業績内訳の（学会発表回数）欄については、演者を（ ）により、内数で記載すること。
2. 業績目録（※別添様式 A により作成し、書類と併せてデータ（Excel ファイル）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）
 - 1) ①欧文原著（学会の abstract/proceedings は除く）、②和文原著（学会の abstract/proceedings は除く）、③欧文症例報告（学会の abstract/proceedings は除く）、④欧文総説、⑤和文総説、⑥欧文著書、⑦和文著書、⑧国際・国外学会での特別講演、⑨国際・国外学会でのシンポジウム等（パネルディスカッションを含む。一般講演は除く）、⑩国内全国学会での特別講演、⑪国内全国学会でのシンポジウム等（パネルディスカッションを含む。一般講演、スポンサードレクチャー、研究会の教育セミナーは除く）（⑧～⑪については演者でなくてもよい。）の順に記載し、それぞれに通し番号を付すこと。
 - 2) 全著者名（候補者名にアンダーラインを引くこと）、表題、誌名・書名、巻数、頁（始～終）、発表年（年代順）を記載すること。
 - 3) 主要な論文 10 編の番号に○印を付すこと。
 - 4) 現在印刷中の論文については、その旨を記載すること。
3. 参考資料（※1）～9）は書類と併せてデータ（WORD ファイル等）を電子媒体（CD-R 等）で提出すること。）
 - 1) 「2. 業績目録 4)」により○印を付した主要論文 10 編についての要旨（別紙「主要論文要旨作成例」参照）
 - 2) ○印をつけた主要論文の内容を盛り込んだ業績内容の概要（A4 判(縦)横書き：2,000 字以内）（別紙「業績内容の概要作成例」を参照）
 - 3) 今までの取り組みや抱負等
 - ①教育に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
 - ②研究に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
 - ③診療に対する今までの取り組みと抱負（A4 判(縦)横書き：1,000 字程度）
 - 4) 担当授業科目一覧
 （A4 判(縦)横書きで、令和2年度及び令和3年度の担当授業科目等について記載すること。他大学等の授業担当科目等もすべて記載（「授業科目名」欄に大学名等を記載）すること。）

（作成例）

担当授業科目一覧表（令和2年度、令和3年度）

授業科目名	担当年度	年間担当時間数	特記すべき授業内容
〇〇学	R〇, R〇	前期30時間	
〇〇学実験・実習	R〇	通年45時間	
（教育に関する特色等があれば記載してください。（400文字以内））			

5) F D・教育セミナー等の参加状況について
(作成例)

主 催	年 月 日	名 称
徳島大学	令和〇年〇月	チュートリアル F D

6) 学内・学外での委員歴
(作成例)

年 度	名 称
令和〇	教務委員会 (副委員長)

7) 科学研究費補助金、その他の助成金の受領状況一覧

(A4 判(縦)横書で、代表、分担の区分順に、省庁等の名称、名称(種別)、受領年度(継続の場合は、初めの年度から終わりの年度まで)、金額総額(間接経費を含む。分担の場合も総額を記載すること)、研究課題名、研究分担者の場合は代表者の研究課題名、所属機関及び職・氏名を記載すること。奨学寄附金は除く。)

(作成例) 科学研究費補助金等受領状況一覧表

区分	省庁等名	名称(種別)	受領年度	金 額	研究課題名	備 考
代表	文部科学省	科学研究費補助金(基盤研究C)	H15	千円 3,000	〇〇〇〇〇〇〇	代表 〇〇大学〇学部教授〇〇〇〇 主任研究者 〇〇大学〇学部教授〇〇〇〇
代表	文部科学省	科学研究費補助金(基盤研究B)	H20	4,000	〇〇〇〇〇〇〇	
分担	文部科学省	科学研究費補助金(基盤研究B)	H23~25	8,000	〇〇〇〇〇〇〇	
研究協力者	厚生労働省	特定疾患研究費補助金	H21~22	7,000	〇〇〇〇〇〇〇	
代表	〇〇財団	〇〇奨励賞	H24	500	〇〇に関する研究	

8) 国内・国際特許出願・取得状況一覧

(A4 判(縦)横書で、現在までに取得した国内・国際特許について作成し、それぞれ取得を証明できる書類のコピーを添付すること。※出願のみや公開中のものはその旨記載すること。)

(作成例) 国内・国際特許出願・取得状況一覧

特許種別	名 称	特 許 番 号	出願・取得年月日	
国 内	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	2005-12345	H17. .	取得 出願
国 際	△△△△△△△△△△△△△△△△	2006-67890	H18. .	

9) 〇印をつけた主要論文 10 編を評価引用してあるテキストブック(欧文)、一流誌のレビュー等があればそのコピー。

10) 過去 5 年間に実施した手術症例数一覧表

(過去 5 年間(平成 29 年 10 月 1 日~令和 4 年 9 月 30 日)に実施した泌尿器科に関する手術症例数について別添様式 1-1、1-2 により作成し、そのうち代表的な 10 症例については、個人情報に関わる部分を塗りつぶすなどして配慮した上で、手術記録のコピーを添付すること。)

11)「履歴書 10. 資格」に記載した資格を証明するもの（認定書のコピー等）

12)「履歴書 12. 賞罰」に記載した受賞を証明するもの（賞状のコピー等）

4. 論文別刷

1)「2. 業績目録 2)の①欧文原著, ②和文原著, ③欧文症例報告, ④欧文総説, ⑤和文総説, ⑥欧文著書, ⑦和文著書」については, すべて別刷又はコピーを添付し, 別刷には業績目録と照合しやすいように対応する番号を付すこと。

2)現在印刷中の論文については, 校正刷又は投稿原稿のコピーに掲載許可証明を添付すること。

5. その他の注意事項

1)提出される書類は, 印字してください。

2)送付された書類は, 返却しないので, 重要な書類についてはコピーを提出すること。

(履歴書作成例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日現在

履 歴 書

1. 氏 名 ふりがな 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇 〇 〇 〇
2. 生 年 月 日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇才)
3. 現 職 〇〇大学講師〇〇学部 (〇〇講座)
4. 所属機関住所 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇 1-2-3 〇〇大学〇〇学部
(電話) () - (内)
5. 現 住 所 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇 3-2-1
(電話) () -
(携帯電話)
6. メールアドレス 〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇. 〇〇. a c . j p
7. 連 絡 先 (勤務先) ・ 自 宅
8. 学 歴 昭和〇〇年〇〇月 〇〇県立〇〇高等学校卒業
昭和〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部卒業
平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科修士課程修了
平成〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科博士課程修了
9. 学 位 平成〇〇年〇〇月 博士 (〇〇) (〇〇大学甲〇第〇〇〇号)
10. 資 格 医籍登録 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (第〇〇〇〇号)
日本〇〇学会〇〇〇 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (第〇〇〇〇号)
日本〇〇学会〇〇〇 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (第〇〇〇〇号)
11. 職 歴 平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇学部附属病院において研究従事
平成〇〇年〇〇月 〇〇大学〇学部附属病院医員 (研修医)
平成〇〇年〇〇月 〇〇病院〇〇科医師
平成〇〇年〇〇月 〇〇大学助手〇〇学部 (〇〇講座)
平成〇〇年〇〇月 〇〇大学講師〇〇学部 (〇〇講座)
(現在に至る)
12. 賞 罰 平成〇〇年〇〇月 〇〇学会奨励賞
13. 所 属 学 会 日本〇〇学会 (評議員), 日本△△学会 (〇〇〇〇委員),
(役員名, 委員名) 外国の学会 (原文標記)
14. 外国出張等 平成〇〇年〇〇月~平成〇〇年〇〇月
(留学・研修含む) 米国 Harvard Medical School, Department of 〇〇 (Visiting Professor)
(原文標記)

15. 業績内訳

(論文数)

	原著		欧文 症例報告	総説			著書	
	欧文	和文		欧文	和文		欧文	和文
総数	37	13	16	2	1			
筆頭	19	3	9	1	0	単著	0	1
セカンドオーサー	5	1	3	1	0	共著	3	2
コレスポンディングオーサー	23	1	11	1	0	分担	0	0
ラストオーサー	0	0	3	0	0			
単著	0	0	0	0	0			

※筆頭、セカンドオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー、単著はそれぞれ内数で記載すること。その場合、単著は筆頭に含めないものとする。

※単著は一冊の本を1人で執筆した場合、共著は一冊の本を2人で監修した場合、分担は一冊の本の複数章のうち、1章を担当している場合(2章以上を担当している場合でも1として集計)とする。

(学会発表回数)

国際・国外学会		国内全国学会	
特別講演	シンポジウム等	特別講演	シンポジウム等
20 (15)	15 (10)	25 (15)	20 (10)

※()は演者で内数を記載

※一般講演、スポンサードレクチャー、研究会の教育セミナーは除く。

(主要論文要旨作成例)

主 要 論 文 要 旨

[illegible][illegible]

〔以下省略〕

(業績内容の概要作成例)

業 績 内 容 の 概 要

氏 名 ()

※2, 000字以内にまとめること。

私の研究は, ○○○○代謝及び治療に関するものであり, 1) ○○○○の代謝調節及び作用機序に関する研究, 2) ○○○○の発生機序に関する研究, 3) ○○○○代謝異常の病態及び治療に関する研究の3つに大別される。

1) ○○○○の代謝調節及び作用機序に関する研究

ラット及び培養細胞を用いて○○○○活性化調節機構とその調節因子について検討し, 甲状腺ホルモンに加えカルシトニン (欧 4), prostaglandin (欧 12), インスリン (欧 21, 30, 和 5), 血中○○○○ (欧 31) の○○○○酵素活性調節作用, ○○○○と○○○○との相互の代謝調節作用 (欧 17, 和 20) ○○○○輸送促進による腸管○○○○吸収促進作用 (欧 5), 細胞膜リン脂質代謝の変化を介する○○○○流入機構の促進による腸管○○○○吸収促進作用を明らかにした (欧 6, 7, 和 8)。

2) ○○○○の発生機序に関する研究

(中略)

3) ○○○○代謝異常の病態及び治療に関する研究

(中略)

私の研究の特色は, 患者の症状, 所見などを対象とした臨床研究から, タンパク質・核酸を対象とした分子細胞生物学的研究まで多岐にわたっている。近年は, ○○○○の発症機序の解明, ○○○○異常の病態解析及び治療法確立に主眼を置いている。

また, 私の○○○○代謝に関する研究は Harrison's Principles of Internal Medicine などの成書や Endocrine Reviews 等の総説に引用されている。

2. 業績目録

①欧文原著

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

②和文原著

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

③欧文症例報告

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

④欧文総説

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

⑤和文総説

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

⑥欧文著書

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

⑦和文著書

No.	全著者名	表題	誌名・書名	巻数、頁(始～終)	発表年	備考

⑧国際・国外学会での特別講演

No.	全発表者名	表題	学会名	開催日	備考

⑨国際・国外学会でのシンポジウム等

No.	全発表者名	表題	シンポジウム等名	開催日	備考

⑩国内全国学会での特別講演

No.	全発表者名	表題	学会名	開催日	備考

⑪国内全国学会でのシンポジウム等

No.	全発表者名	表題	シンポジウム等名	開催日	備考

※行が不足する場合は追加してください。

過去5年間に実施した手術症例数一覧表

(平成29年10月1日～令和4年9月30日)

単位(件)

手術名		氏名:	
大項目	小項目	執刀術者症例数	助手として手術指導症例数
1) 副腎・腎・後腹膜の手術	1-1 副腎摘除術(開腹手術)		
	1-2 副腎摘除術(腹腔鏡手術)		
	1-3 副腎摘除術(ロボット支援手術)		
	2-1 根治的腎摘除術(開腹手術)		
	2-2 根治的腎摘除術(腹腔鏡手術)		
	2-3 根治的腎摘除術(ロボット支援手術)		
	3-1 ドナー腎採取術(開腹手術)		
	3-2 ドナー腎採取術(腹腔鏡手術)		
	4-1 単純腎摘除術(開腹手術)		
	4-2 単純腎摘除術(腹腔鏡手術)		
	5-1 腎尿管全摘除術(開腹手術)		
	5-2 腎尿管全摘除術(腹腔鏡手術)		
	5-3 腎尿管全摘除術(ロボット支援手術)		
	6-1 腎盂形成術(開腹手術)		
	6-2 腎盂形成術(腹腔鏡手術)		
	6-3 腎盂形成術(ロボット支援手術)		
	7 腎切石術		
	8 経皮的腎砕石術		
	9-1 後腹膜腫瘍摘除術(開腹手術)		
	9-2 後腹膜腫瘍摘除術(腹腔鏡手術)		
	10 後腹膜リンパ節郭清術		
	11 その他		
2) 尿管・膀胱の手術	1 経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)		
	2-1 膀胱部分切除術(開腹手術)		
	2-2 膀胱部分切除術(腹腔鏡手術)		
	3-1 膀胱全摘除術(開腹手術)		
	3-2 膀胱全摘除術(腹腔鏡手術)		
	3-3 膀胱全摘除術(ロボット支援手術)		
	4-1 尿管皮膚瘻造設術(開腹手術)		
	4-2 尿管皮膚瘻造設術(腹腔鏡手術)		
	4-3 尿管皮膚瘻造設術(ロボット支援手術)		
	5-1 回腸導管造設術(開腹手術)		
	5-2 回腸導管造設術(腹腔鏡手術)		
	5-3 回腸導管造設術(ロボット支援手術)		
	6-1 回腸新膀胱造設術(開腹手術)		
	6-2 回腸新膀胱造設術(腹腔鏡手術)		
	6-3 回腸新膀胱造設術(ロボット支援手術)		
	7-1 尿膜管摘除術(開腹手術)		

手術名		氏名：	
大項目	小項目	執刀術者症例数	助手として手術指導症例数
	7-2 尿膜管摘除術(腹腔鏡手術)		
	8-1 膀胱尿管逆流防止術(開腹手術)		
	8-2 膀胱尿管逆流防止術(腹腔鏡・気膀胱手術)		
	9-1 膀胱・骨盤臓器脱手術(開放手術)		
	9-2 膀胱・骨盤臓器脱手術(腹腔鏡手術)		
	9-3 膀胱・骨盤臓器脱手術(ロボット支援手術)		
	10 経尿道的腎・尿管碎石術		
	11 経尿道的膀胱碎石術		
	12 経尿道的尿管瘻切開術		
	13 その他		
3)前立腺・尿道の手術	1 経尿道的前立腺切除術(レーザー手術を含む)		
	2-1 前立腺全摘除術(開腹手術)		
	2-2 前立腺全摘除術(腹腔鏡手術)		
	2-3 前立腺全摘除術(ロボット支援手術)		
	3 経尿道的内尿道切開術		
	4 尿道拡張術		
	5 尿道全摘除術		
	6 尿道カルンクル切除術		
	7 尿道形成術		
8 その他			
4)陰嚢内・陰茎の手術	1 精巣固定術		
	2 精索捻転手術		
	3 精巣摘除術(高位精巣摘除術を含む)		
	4 精巣水腫根治術		
	5 精索水腫根治術		
	6 精索静脈瘤根治術		
	7 包皮環状切除術		
	8 包皮背面切開術		
	9 外尿道口切開術		
	10 陰茎部分切除術		
	11 陰茎全摘除術		
	12 その他		
5)その他	1 ()		
	2 ()		
	3 上記に該当しないもの		
合 計			
「5) その他 3 上記に該当しないもの」の項目にあげた手術について、特記事項等がある場合は記載してください。			

※ 手術内容が2項目以上にまたがる場合は、どちらか主要な分類に一つ選んで数えてください。

單位(件)

[illegible]

[illegible]

